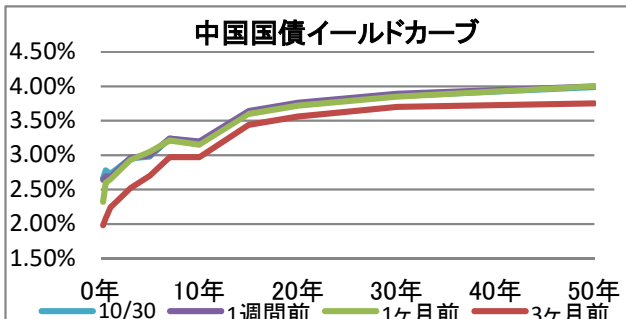
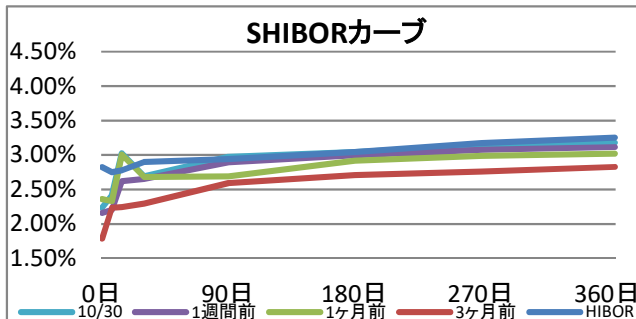


## ①市場概況

基準レート		2020/10/30	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7232	0.0529
	JPY/CNY	6.4268	0.0698
SHIBOR	3M	2.9720%	+0.0770%
国債利回り	10年	3.18%	-0.02%
上海総合指数		3,224.53	-53.47



### (1) 概況

欧米で新型コロナウイルス感染が急拡大する中、中国では長期計画が協議される五中全会が開催され、米国では大統領選挙運動が最終盤を迎える月末週とあって、中国金融市場では参加者の様子見姿勢が一段と強まる展開となった。中国株式市場では国内経済は堅調ながら米国株式市場の急落等もあって上値の重い展開が続き、債券市場も小動きとなったものの、外国為替市場では逆周期因子利用停止をめぐる思惑からの元安が週末には大きく元高方向に修正されている。

29日に閉幕した五中全会では、注目された経済成長数値目標は設定されず、幹部人事についても言及はなかった。公表されたコミュニケには第14次五か年計画に加えて2035年までの長期経済目標が盛り込まれ、改革開放推進による市場化と公正競争を促進し、文明や教育の水準を高め、経済を発展させて国民所得水準を一段と高め、経済格差を縮小するとの内容としている。

### (2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日3,200億元に対し、新規リバースオペ5,100億元を実施し、差し引き1,900億元を供給している。

### (3) 主な経済指標

- ・工業部門利益（9月）は、前年+10.1%（8月+19.1%）に大幅鈍化。これは、生産者物価下落幅拡大により原材料価格との差（収益）が圧迫されたことや、費用増加や資産減損損失計上、電子と自動車部門での原材料価格上昇が主因。
- ・国家統計局のPMI（10月）は、製造業が51.4（9月51.5）、非製造業が56.2（同55.9）、総合で55.3（同55.1）と、8ヶ月連続での50を上回って回復傾向は維持されているものの足踏みの状況。特に製造業では小型企業での悪化や雇用サブインデックスの低迷が続いていることに加え、好調な輸出新規受注の先行き見通しへの懸念が残る。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.2360%	3.0000%	5.0000%	
1W	2.4180%	4.5000%	4.5000%	3.0500%
2W	3.0250%	3.1000%	5.0000%	2.9500%
1M	2.6890%	3.1000%	2.8500%	2.8000%
3M	2.9720%	3.9500%	3.1000%	3.0600%
6M	3.0440%	3.0440%		3.1200%
9M	3.1360%			3.2000%
12M	3.1800%	3.9500%		3.2200%

中国人民銀行の中立的な調節が続き、五中全会が開催されていた月末週とあって特段の波乱はなかったものの、金利水準がじりじりと上昇する状況が続いている。ターム物は1ヶ月が3.0%前後まで上昇して出合っているものの限定的。

NCDも、金利水準も高止まりが続いており、ターム物の金利水準は1ヶ月2.75%前後、3ヶ月3.05%前後、6ヶ月3.10%、1年3.20%に上昇して取引されている。

### (2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	0.01%	0.02%
1W	0.03%	0.04%
1M	0.08%	0.10%
3M	0.35%	0.38%
6M	0.65%	0.80%
12M	1.00%	1.05%

月末週とあってやや調達姿勢が強まる状況も見られたが、市場の資金需給に大きな変化はなく、金利水準も1ヶ月が0.10%を下回る水準、3ヶ月は0.35%前後は出し気配となっている。

### ③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.66%	2.69%	3.02%	3.09%	3.35%
6M	2.78%	2.80%	3.08%	3.21%	3.47%
1Y	2.73%	2.85%	3.14%	3.23%	3.49%
3Y	2.95%	3.09%	3.49%	3.65%	4.00%
5Y	2.98%	3.34%	3.69%	3.95%	4.53%
10Y	3.18%	3.62%	4.00%	4.31%	5.00%

債券市場では、五中全会や国内経済の欧米での新型コロナウイルス感染再拡大による先行き不透明感、更に米大統領選挙動向等から様子見姿勢が強く、月末週とあって短期債利回りが上昇傾向となったことを除き、概ね小動きに終始した。

イールドカーブは、短期ゾーンの金利が小幅ながら上昇を続けている以外の値動きは限定的となったことから若干フラットニングし、クレジットスプレッドも不透明感から利率債人気は勝って若干拡大している。

### ④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	40.5 / 41.0
1M	156.0 / 158.0
3M	516.5 / 519.0
6M	929.0 / 932.0
9M	1290.0 / 1300.0
12M	1685.0 / 1689.0

対ドル基準レートは6.7232と前週末比+529pipsのドル高元安、対円基準レートは6.4268と同+698pipsの円高元安と、基準レート算定における逆周期因子利用停止が明らかとなった以降の元安を映じた水準で設定されている。国内市場取引においては、逆周期因子利用中止が当局の人民元相場の方方向への変動拡大容認姿勢に過ぎないとの理解が広がり、週末には元高に転じて6.68台で取引を終えている。

先物は、前週同様に人民元短期金利上昇や国外からの投資資金流入が続き、スワップ幅の拡大傾向は続いているものの大きな変動はなかった。

### ⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.48%		2.09%
6M	2.46%	2.98%	2.12%
9M	2.47%	2.99%	2.17%
1Y	2.49%	3.03%	2.19%
3Y	2.68%	3.25%	2.20%
5Y	2.83%	3.44%	
7Y	2.95%	3.59%	
10Y	3.09%	3.74%	

短期金利が上昇する一方で中長期の債券利回りに大きな変化がなかったことから、スワップ金利も短期が上昇して中長期がヘッジ需要もあってやや大きく低下する格好でフラットニングし、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも縮小が続いている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。